

NEWS RELEASE

令和元年 8 月 1 日

独立行政法人日本スポーツ振興センター

広報室

＜「ハイパフォーマンス統括人材の育成支援」事業＞

競技団体におけるマネジメント人材の育成支援

第 2 期プログラム開始

日本スポーツ振興センター(JSC: JAPAN SPORT COUNCIL)では、平成29年度より ハイパフォーマンスディレクター(HPD)／ワールドクラスコーチ(WCC)育成プログラム を開発・実施しています。本プログラムは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック以降に、各競技団体において競技力強化、ガバナンスをけん引する人材が、より高度な戦略立案やマネジメントの手法を身に付けるための人材育成プログラムです。

本プログラムを開発・実施することで、国際大会における持続的な日本人選手の活躍と、スポーツ界全体の発展を促進することを目指しています。今年度より、第2期受講者に向けたプログラムが開始したことをお知らせいたします。第2期受講者は、下表のとおりです。

●第2期プログラム受講者

HPD/WCC	氏名(所属)	氏名(所属)
HPD	池端 弘幸 (日本卓球協会)	魚住 稿 (日本ブラインドサッカー協会)
	竹内 智香 (全日本スキー連盟)	田中 辰美 (日本障害者スポーツ射撃連盟)
	中澤 吉裕 (日本車いすテニス協会)	永井 祐司 (日本ホッケー協会)
	水鳥 寿思 (日本体操協会)	森井 貴志 (日本身体障がい者水泳連盟)
	横田 真人 (日本陸上競技連盟)	
WCC	高橋 章 (日本ホッケー協会)	信田 憲司 (日本パラアイスホッケー協会)
	藤田 佑平 (日本障害者スキー連盟)	

●本プログラムが育成するハイパフォーマンスディレクター／ワールドクラスコーチとは？

ハイパフォーマンスディレクター定義	ワールドクラスコーチ定義
組織成果最大化のため、ビジネス側を巻き込みながら競技全体の強化促進を図る人材	自らの経験および多様な知見を取り込むことで世界トップレベルの指導を行い、チーム・選手の強化促進を図る人材

※国内外調査を元に JSC が定めたもの

● **第2期プログラムスケジュール(2か年)** ※本プログラムは、本事業のプログラム開発の一環として実施するものです。

日程	内容
2019年5月	個別アセスメントの実施
2019年6月～	集合研修(3ヶ月毎)や、課外研修、実地研修を実施
2019年9月～	メンタリングを実施(予定)
2019年11月	海外研修(オーストラリア)を実施(予定)

なお、本事業の特徴および第1期プログラムについて記載した別紙を付しておりますので合わせてご覧ください。

ハイパフォーマンスディレクター／ワールドクラスコーチ育成プログラムについて

●第1期プログラム受講者

平成30年度から開始した第1期プログラムの受講者は下表のとおりです。

HPD/WCC	氏名(所属)	氏名(所属)
HPD	浅見 敬子 (日本ラグビーフットボール協会)	栗山 雅倫 (日本ハンドボール協会)
	村松 さやか (日本水泳連盟)	吉田 進 (日本パラ・パワーリフティング連盟)
	吉田 清司 (日本バレーボール協会)	
WCC	川北 元 (日本バレーボール協会)	花岡 伸和 (日本パラ陸上競技連盟)
	山田 永子 (日本ハンドボール協会)	

●第1期プログラム(2か年)これまでのスケジュール

日程	内容
2018年5月	個別アセスメントの実施
2018年6月～	集合研修(3ヶ月毎)や、実地研修を開始
2018年10月～	メンタリングを開始
2018年11月	海外研修(オーストラリア)を実施

●本プログラムの特徴

本プログラムでは、これまでのスポーツ人材育成では珍しい、“メンター制度”を導入しています。受講者のメンターとして、ビジネス界・学術界の方々にもご協力いただき、スポーツ界だけにとどまらないネットワーク創出と新たな学びの機会を提供していきます。第1期生のメンターとしてご協力いただいている方は、以下のとおりです。

【第1期生メンター】

氏名	所属
・植田 実氏	日本テニス協会 常務理事
・萩原 美樹子氏	日本バスケットボール協会 女子ジュニア専任コーチ
・伊藤 雅充氏	日本体育大学体育学部 教授 コーチングエクセレンスセンター センター長
・田中 暢子氏	桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部 教授
・長谷川 博和氏	早稲田大学大学院経営管理研究科 教授
・岩田 松雄氏	(株)リーダーシップコンサルティング 代表
・北村 秀夫氏	元(株)東芝 副社長
・宮田 芳文氏	元第一生命保険(株)常務執行役員

※第2期生メンターは後日発表予定

●メンタリングとは？

「メンタリング」とは人材育成の手法の1つで、豊富な経験・知識・スキル・見識を持つ人（メンター）が、他者（メンティ）の成長のためにアドバイス・情報・ガイダンス・サポートチャンスを提供し、メンティの課題解決や個人の成長を支えるという関係性を意味します。本プログラムにおけるメンタリングでは、メンターとメンティ（受講者）は月に1回のメンタリングを実施します。メンターは主に、本プログラムの国内集合研修の最終回（2020年3月）に実施される、受講者によるプレゼンテーションに向けてのアドバイスをすることで、受講者の学びを促進させます。また、受講者の日常的な相談にもものごともあり、受講者がHPD、WCCに求められる行動特性（コンピテンシー）を身に付けられるよう支援します。対面での実施が基本ですが、国内外での遠征等で多忙を極める受講者に配慮し、オンラインでの実施もしています。メンターが受講者の現場（練習、試合等）を訪問し、その後メンタリングを実施することもあります。また、メンターのネットワークを活用して、他業種の専門家との出会いを創出することもあります。

引用：（独）日本スポーツ振興センター スポーツ開発部 女性アスリートの戦略的強化・支援プログラム「ハイパフォーマンススポーツにおける女性の戦略的強化」。2018